

築 85 年の旧銀行をリノベーションしたホテル、港街の歴史と今、ローカルが混ざり合う 「HakoBA 函館」 5月26日(金)グランドオープン

THE SHARE HOTELS 第三号店、3月31日宿泊予約の受付開始

リノベーションホテル「HATCHI 金沢」や「LYURO 東京清澄」をトータルプロデュースする株式会社リビタ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：都村智史）は、北海道函館市のベイエリアに、ホテル「HakoBA 函館 -THE SHARE HOTELS-（ローマ字表記、読み：ハコバ ハコダテ ザ シェア ホテルズ）」を5月26日(金)にオープンいたします。また、3月31日(金)よりウェブサイトを開示し、宿泊予約の受付を開始いたしました。

公式ウェブサイト <http://www.thesharehotels.com/hakoba>



▲左：ホテル外観 右上：名所八幡坂に面した立地 右下：近隣には赤レンガ倉庫群が立ち並ぶ

「HakoBA 函館」は、海を臨み、函館山を背にしたベイエリアに並んで建つ、特色ある遊休建物 2 棟を、一部用途変更を伴うリノベーションにより再生したホテルです。ホテルニューハコダテとして7年前まで使用されていた建物は、1932年に安田銀行函館支店として建設され、函館市の景観形成指定建築物に指定され85年の時を経た今も、当時の近代建築の特徴を残しています。隣接する旧西波止場美術館の建物は、美しい赤レンガ造りで、ベイエリアの街並みに自然に溶け込みます。これらの特徴ある2棟を活用し、リビタがトータルプロデュースする「THE SHARE HOTELS」（ローマ字表記、読み：ザ シェア ホテルズ）の第三号店として、宿泊機能はもちろん、函館ならではの食材を用いた飲食店、地域の方も参加いただけるイベントなども行うオープンラウンジやシェアキッチンなどのシェアスペースを備えた複合ホテルを提供します。開国の時代より、古いものと新しいものが混ざり合い、外の文化や新たな人の流れでこの地に起きてきたムーブメントが、再びここ「HakoBA 函館」から起きればと考えています。



THE SHARE HOTELS



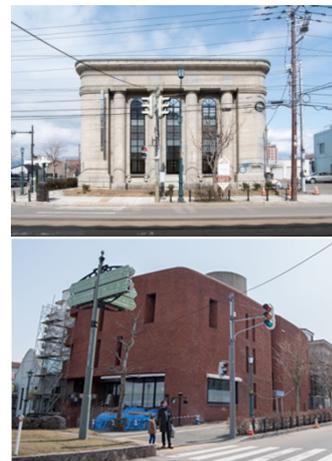
▲昭和44年開業当時のホテルニューハコダテ

【建物・客室】

ホテル全体は、“BANK”と“DOCK”の2つの建物で構成されています。

建設当初銀行だった“BANK”は、開国により海外の文化や考え方が入り込み、街に溶け込んでいった時代をリバイバルさせるようなモダンな空間に仕上げました。建築当初の内装を活かした、ツイン・ダブルの個室タイプの19室(定員2名)、プライベートテラス付のメゾネットタイプ1室(定員4名)の客室構成となっております。昭和初期に流行したアール・デコ調の装飾が施された梁や半円アーチ型の窓など当時の意匠が現存する趣のある空間を活かしています。

船の形を模して造られた“DOCK”は、函館を象徴する赤レンガを連想する木の色が特徴の2段ベッドの客室です。個室タイプ3種13室(定員2~6名)と、ドミトリータイプ32ベッド(女性専用あり)をご用意し、多様な宿泊シーンでご利用いただける構成となっております。



▲上：BANK 下：DOCK

◆BANK◆

DOUBLE・TWIN (ダブル・ツイン) / 個室タイプ 【定員2名×19室】

MAISONNETTE (メゾネット) / 個室タイプ 【定員4名×1室】

気持ちの良い高天井と、窓枠など当時の内装を活かした歴史を感じる客室でゆったりとお過ごしいただけます。共用空間にも吹き抜けや天窓など印象に残るシーンが数多くあり、ご夫婦や大切な人とのご滞在に、素敵な思い出を添えてくれます。

料金(素泊まり) DOUBLE:¥14,000~/部屋、TWIN:¥20,000~/部屋、MAISONNETTE:¥30,000~/部屋



◆DOCK◆

ECONOMY ROOMS (エコノミールームズ) / 個室タイプ

L ECONOMY GROUP (エコノミーグループ) 【定員6名×2室】

ロフト型の木製ベッドとダブルベッドを組み合わせたベッド空間に、洗面が備えられた個室タイプの客室。立体的でワクワクするベッド周りは、お子様連れファミリーや、女子旅などグループ旅行に最適です。

料金(素泊まり) GROUP : ¥20,000~/部屋

L ECONOMY QUAD (エコノミークワッド) 【定員4名×4室】

L ECONOMY TWIN (エコノミーツイン) 【定員2名×7室】

2段ベッド(QUADは2台、TWINは1台)と洗面が備えられた個室タイプの客室。会話も弾むオープンで解放的なベッド空間で、グループ旅行やカップル、友人同士のご滞在を楽しく過ごせます。

料金(素泊まり) QUAD:¥14,000~/部屋、TWIN:¥8,500~/部屋

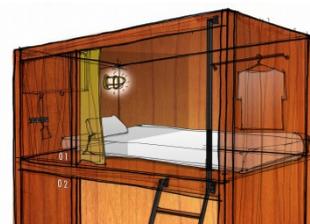


SHARED ROOMS (シェアードルームズ) / ドミトリータイプ(女性専用あり)

【男女共用24ベッド・女性専用8ベッド】

2段ベッドのドミトリータイプ。鍵付きセキュリティボックスやプライバシーを考慮したカーテンを設え、共用客室でも安心して宿泊いただけます。水回り設備は共用のシャワー、トイレ、洗面をご利用いただけます。女性専用ドミトリーのお部屋には、メイクスペースや更衣スペースを設け、女性に優しい機能も備えています。

料金(素泊まり) ¥3,600~/ベッド



SHARED ROOMS イメージ

【地域に開かれ、地域と結びついたシェアスペース】

◆BANK◆

オープンラウンジ

宿泊者がゆったりとくつろげるスペースであるとともに、地域のアーティストの企画展示やトークセッションといったイベントの開催も予定しており、宿泊者やゲストと函館で活躍するローカリストが交流できる開かれたスペースとしてもご利用いただけます。

◆DOCK◆

フロント・ロビー

外国文化が入ってきた時代を彷彿とさせるモダンなインテリアと、感性と旅情を刺激する地元出身のアーティストによるグラフィックアートに囲まれた空間でゲストをお出迎えます。また、フロント横に併設したキオスクでは北海道や北東北をテーマにしたハンドメイドの工芸品をセレクト。「HakoBA 函館」ならではの「出会い」を演出いたします。

ルーフトップシェアキッチン

最上階には宿泊者にご利用いただけるキッチンをご用意しています。共用冷蔵庫のほか、調理道具も充実しているので、有名な函館朝市で地元の旬の食材を買って、仲間と料理をつくったりして新たな旅の過ごし方をお楽しみいただけます。また、宿泊者だけでなく、地域の方にも、ご利用いただけるワークショップなども開催する予定です。一步外にできれば函館湾を見渡すルーフトップへとつながり、夏と冬には特等席で花火をご鑑賞いただけます。



▲フロント・ロビー（完成イメージ）



▲シェアキッチン（イメージ）



▲ルーフトップから眺める花火
（昨年開催された実際の写真）

【レストラン】

“DOCK”の1階にある海を臨むレストランは、ふらっと立ち寄りたくなるオープンな雰囲気、ホテル宿泊者や観光に訪れる方だけでなく、地域の方にも広く愛されるお店を目指します。市内で人気のカフェレストランやデパート地下の惣菜店舗を展開する“Cafe&Deli MARUSEN”が手がけるレストラン「PIER H TABLE（ローマ字表記、読み：ピアー エイチ テーブル）」がオープン。“波止場のテーブル”をコンセプトに、港で揚がる新鮮な魚介と、北の大地の旬の素材を集め、シンプルかつ、ひと工夫を凝らした料理をご用意します。また、店名の“H”は函館の“H”を意味し、食卓（TABLE）を架け橋（PIER）として、函館の魅力を届けたいという想いも込められており、厳選したクラフトビールや、市内の焙煎所から提供されるオリジナルブレンドのコーヒーなど「食」でも“Local”に触れるキッカケを、ゲストへ提供します。

PIER H TABLE

提供料理（イメージ）▶



ReBITA

お問合せ、ご質問、取材のお申込み、画像・素材のお貸し出し

株式会社リビタ 早瀬、石川

Tel: 03-5656-6916 Fax: 03-5468-9226 Mail: pr@thesharehotels.com

【概要】

- ・施設名 : HakoBA 函館 -THE SHARE HOTELS-
(読み: ハコバ ハコダテ ザ シェア ホテルズ)
- ・開業日 : 2017年5月26日(一般宿泊開始)
- ・URL : <http://www.thesharehotels.com/hakoba>
- ・所在地 : 北海道函館市末広町 23-9
- ・交通 : 函館市電(路面電車「函館駅前」～「末広町」間) 8分、「末広町」停留場徒歩3分
JR 函館駅より徒歩23分、車で10分
- ・構造 : BANK 鉄筋コンクリート造地上3階建て
DOCK 鉄骨造地上4階建て
- ・建築年月 : BANK 1932年
DOCK 1986年7月
- ・延床面積 : 1995.03㎡
- ・建築面積 : 787.24㎡
- ・リノベーション竣工 : 2017年5月
- ・客室数(定員) : ドミトリータイプ32ベッド(定員1名)、個室タイプ5種34室(定員2～6名)
- ・収容人数 : 116名
- ・備考 : BANKは函館市の景観形成指定建築物に指定

【プロジェクトメンバー】

- ・企画/運営 : 株式会社リビタ
- ・統括設計/監理 : 株式会社フィールド
- ・デザイン監修 : 株式会社デザインエイト(BANK、フロント・ロビー)
- ・施工 : 前側建設・亀田工業共同企業体
- ・レストラン出店 : Cafe&Deli MARUSEN
- ・レストラン企画・プロデュース : 株式会社太刀川
- ・ホテルロゴデザイン : 株式会社ドリップ&サーブ

【THE SHARE HOTELS について】

You in Local, New in Local

ザ シェア ホテルズは、その場所にしかない新しい出会いと体験に溢れた場です。
各地に展開する私たちのホテルには、開かれた固有のシェアスペースがあり、
そこには、まちの人々や様々な活動が集まります。

ここを訪れると、まちの今の空気を感じることができたり、
まちの人と出会うことができたり、
個性豊かな活動に参加できたり。

ゲストは様々なスタンスでまちと関わることができます。

私たちは、この場の運営を通じて、まちの人々と国内外のゲストとともに
まちを楽しみ、まちを盛り上げていけたらと考えています。

URL : www.thesharehotels.com/

【THE SHARE HOTELS 計画の背景】

2005年の創業以来、様々な遊休不動産の活用を手がけてきた当社は、既存ストックを再生するためには、建物（ハード）の魅力向上だけではなく、そこにしかない価値を持続的に生み出すための仕掛け（ソフト）の構築が必要不可欠と考えてまいりました。また、観光の視点で日本の地域のこれからを捉えると、その地域特有のコンテンツや体験機会が求められています。一方で、地方の中心市街地には活用されていない遊休化した不動産が点在し、人通りの寂しくなってしまったエリアも珍しくはありません。

そこで、これまで培ってきたリノベーションのノウハウ、様々なコミュニティづくりの経験を活かし、地域の方と旅行者がつながる場と宿泊機能を併せ持つリノベーションホテルを立ち上げました。これからも既存建物を再生したホテルを舞台に、地域に根差した体験・コンテンツ・人との関わりを提供し、地域内外の繋がりが構築され、地域の魅力が持続的に拡散していく場をつくりたいと考えています。

【株式会社リビタについて】

「くらし、生活をリノベーションする」をコンセプトに、既存建物の改修・再生を手がける会社として設立。「次の不動産の常識をつくり続ける」を経営ビジョンに掲げ、一棟、一戸単位のマンションや戸建てのリノベーション分譲事業やリノベーションコンサルティング事業、シェア型賃貸住宅や商業施設、公共施設の企画・運営、PM・サブリース事業、ホテル事業を手がけています。

一棟まるごとから一戸単位のリノベーション済みマンションや中古を買ってリノベーションする「リノサポ」、シェア型賃貸住宅「シェアプレイス」、100平米超マンションを紹介する「R100 TOKYO」や、戸建てリノベーション「HOWS Renovation」など様々な住まいの選択肢を提供。その他、印刷工場をオフィス商業複合施設にコンバージョンした港区海岸「TABLOID」や東京内神田のシェア型複合施設「the C」、大人の部活がうまれる街のシェアスペース「BUKATSUDO」、次世代型公共施設を目指した日野市多摩平の森産業連携センター「PlanT」など、『くらす』にとどまらず『働く』『遊ぶ』『学ぶ』などに領域を広げたプロジェクトの企画・プロデュース・運営も多数展開中。

名称：株式会社リビタ 設立：2005年（2012年より京王グループ） 代表取締役社長：都村 智史
住所：東京都渋谷区渋谷 2-16-1 URL：www.rebita.co.jp



原宿神宮前「THE SHARE」
www.the-share.jp/



オフィス商業複合施設「TABLOID」
www.tabloid-tcd.com/



街のシェアスペース「BUKATSUDO」
bukatsu-do.jp